

## 理学療法 (PT: Physical Therapy)

### ○対象とするお子さん

- ・ 運動発達（座る、ハイハイする、立つ、歩くなど）が遅れている。
- ・ 身体がかたい・やわらかい・ぐらぐらしているなどのため運動・動作がぎこちない。
- ・ 抱きづらい、どう座らせたら良いか、どう姿勢を介助したら良いか、どのように遊んだら良いかわからない。
- ・ 呼吸が苦しそう。痰が出しづらい。
- ・ 関節が硬く変形が心配。
- ・ 家庭や学校などで快適に学習や活動に参加するために装具を考えたい。

### ○理学療法で行っていること

- ・ 生まれつきの病気や後天性の病気、ケガなどのため発達が遅れている、寝返りや立ち上がり、移動が難しいお子さんに対し発達を促します。また、筋力をつけることや関節を動かしやすいようにすること、筋肉の緊張を整える等の介入を行い運動機能の向上や改善、変形の予防を図ります。
- ・ 日常生活上で困っていることに対して、お子さんとご家族の方が無理なく、より楽に行える方法を提案します。
- ・ 呼吸が苦しそうなお子さん、痰の出しづらいお子さんに対して、快適な呼吸を目指し介入します。
- ・ 日常生活や学校生活で出来るようになってほしいことや、改善したいことに注目し、そのための準備や対応策について検討します。
- ・ お子さんの体の状況に応じて補装具や車椅子、座位保持装置等の情報を提供し、医師や製作者と連携して製作をお手伝いします。
- ・ 各ライフステージに合わせて、乳児期はおもに基本的運動能力の獲得と育児支援、幼児期は運動機能の獲得と向上、幼稚園や学校への参加を支援していきます。学童期以降は二次障がいへの対応や機能低下と介助負担増に配慮した介入を行います。そして関係機関とも連携し、地域生活への参加を支援します。

